

エプソン社製インクジェットプリンタ用ドライバインストール手順

本ガイドでは、エプソン社製インクジェットプリンタ、インクジェットオールインワンのプリンタ機能をご利用になる際の設定方法について解説します。ご利用のプリンタの機種により必要なパッケージ、手順が異なりますのでご注意ください。



本ガイドの記載内容について、各プリンタに関する動作を保証するものではありません。一部、機能に制限のあるドライバもございます。あらかじめご了承ください。

制限事項については、以降の各機種の項および Turbolinux Client 2008 プリンタスキャナドライバダウンロードサイトを参照ください。

http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/epson_printer.html

RPM パッケージのダウンロードが必要な機種

この項で解説する手順の対象となる機種は以下の通りです。

【対象機種】

カラーインクジェットプリンタ (Photo Image Print System)

- PM-G730

カラーインクジェットプリンタ (Photo Image Print System Lite)

- E-150
- E-200
- E-300
- E-330
- E-500
- E-520
- E-530C
- E-530P
- E-530S
- E-700
- E-720
- PM-D600
- PM-D800
- PM-D870
- PM-G4500
- PM-G850
- PX-5600
- PX-G5300

オールインワン (Image Scan! for Linux & Photo Image Print System Lite)

- EP-801A
- EP-901A
- EP-901F
- PM-A750
- PM-A820
- PM-A840
- PM-A840S
- PM-A890
- PM-A920
- PM-A940
- PM-A950
- PM-A970
- PM-T960
- PM-T990
- PX-501A
- PX-A620
- PX-A640
- PX-A650
- PX-A720
- PX-A740
- PX-FA700
- EP-901A
- EP-901F
- PX-601F
- EP-801A
- EP-702A
- EP-802A
- EP-902A
- PX-502A

(2010年5月現在)





オールインワンでスキャナ機能をご利用いただくには、別途「Image Scan! for Linux」のダウンロードおよび設定が必要です。詳細は Turbolinux Client 2008 プリンタスキャナドライバダウンロードサイトを参照ください。

http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/epson_scanner.html


【事前の準備】

1. Turbolinux Client 2008 をハードディスクにインストールしパッケージのアップデートをおこないま

す。Yum Extender を起動し  (パッケージ)アイコンを選択し画面上部にある“パッケージ”から “更新” オプションボタンを選択しアップデートパッケージを画面のリストに表示します。[全て追加]ボタンをクリックしアップデートパッケージをすべて選択します。

2. 続いて Yum Extender の  (グループ)アイコンを選択して“グループ”画面から“システムパッケージ”の“印刷サポート”グループを選択し印刷に必要なパッケージをすべてインストールします。(1.および2.の詳細手順は、「[Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド](#)」6.1 プリンタ設定の前にも参照ください。)

3. 上記機種をご利用いただくには、更に libopencdk10、libgnutls26、libexpat0 のインストールが必要になります。

Yum Extender の  (パッケージ)アイコンを選択し画面上部にある“パッケージ”から“利用可能”オプションボタンを選択します。上部のテキストボックス内に“libopencdk10”と入力し



をクリックします。リストにパッケージが表示されたらチェックボックスを選択してください。



をクリックすると検索文字列がクリアされます。続いて同様に“libgnutls26”、“libexpat0”も検索しチェックボックスを選択します。

4. パッケージの選択がすべて完了したら[キューを処理する]ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので[OK]ボタンをクリックして必要なパッケージをすべてインストールしてください。1.～3.の手順で選択をしたパッケージが表示されます。また、依存関係にあるパッケージも自動的に選択されインストールされます。完了後[Quit]ボタンをクリックして Yum Extender を終了してください。

【パッケージのダウンロード】

ブラウザでダウンロードサイト(http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/epson_printer.html)へアクセスし、「エプソン製プリンタドライバ」からご利用になる機種名のパッケージ(【対象機種】欄参照)をダウンロードしてください。ファイル名は以下のようになります。それぞれ以降のインストール手順が異なりますので本ガイドの該当ページを参照してください。

- pips-機種名-cups-n.n.n-n.i386.rpm → [RPM パッケージのインストール手順へ](#)
- pipslite-n.n.n-n.i386.rpm → [RPM パッケージのインストール手順へ](#)




“機種名”にはご利用のプリンタの機種名が、“n-n.n.n-n”の部分にはバージョン番号が入りますのでそれぞれ適宜読み替えてください。



pips-機種名-Mandrivannnn.n-n.n.n-n.xxxx.tgz や pips-機種名-TurboLinuxnn.n-n.n-n.xxxx.tgz のような形式のファイル(tar アーカイブ)をダウンロードした場合は、[「パッケージ\(tar アーカイブ\)のダウンロードが必要な機種」](#)へ進んでください。

【RPM パッケージのインストール手順】

pips-機種名-cups_n-n.n.n -n .i386.rpm や pipslite-n.n.n -n .i386.rpm というファイル名のドライバをダウンロードした場合は以下の手順でインストールしてください。

1.  (Kメニュー)から“システム”→“その他のアプリケーション”→“コンソール(管理者)”を選択します。“パスワード:”と表示されたら root のパスワード入力し[Enter]キーを押してください。プロンプトに続けて以下のように入力します。

```
# cd /home/turbo/ダウンロード/
# rpm -Uvh pipslite-1.2.0-1.i386.rpm
準備中... ##### [100%]
 1:pipslite ##### [100%]
Install Message > Described entry of LITE in services.
Install Message > Backup file is /etc/services.bak.
Install Message > Start /usr/lib/pipslite/setup to change setup.
Install Message > Start /usr/bin/pipslite-install to make ppd file.
```



“/home/turbo/ダウンロード/ “ の部分はダウンロード先のパスに、“pipslite-1.2.0-1.i386.rpm”などのパッケージ名の部分は、実際のパッケージファイル名にそれぞれ適宜読み替えてください。

2. インストールが完了したらシステムを再起動してください。



設定を反映するには cups サービスの再起動またはシステムの再起動が必要です。

【プリンタの追加】

上記完了後、「Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド」 「6.4 プリンタの追加」以降を参照しプリンタの追加設定をおこなってください。

プリンタ追加ウィザードの「プリンタの機種を選択」画面で“製造者”から“EPSON”を選択すると“モデル”に機種名が表示され選択が可能になります。



カラーインクジェットプリンタ (Photo Image Print System Lite) およびオールインワン (Image Scan! for Linux & Photo Image Print System Lite) 欄に記載されている機種をご利用いただく場合は、「プリンタの機種を選択」画面で“製造者”から“EPSON”を選択し“モデル”一覧から“LITE”を選択してください。

【アンインストール手順】

pips-機種名-cups_*n.n.n* -*n* .i386.rpm や pipslite-*n.n.n* -*n* .i386.rpm というファイル名のドライバをインストールしている場合、以下のように実行しアンインストールしてください。

```
# rpm -e pips-機種名-cups
# rpm -e pipslite
```



pips-機種名-cups または pipslite の部分にはアンインストールするパッケージ名を指定します。パッケージ名は以下のとおり確認することができます。

```
# rpm -qa | grep pips
pipslite-1.2.0-1
```

パッケージ (tar アーカイブ) のダウンロードが必要な機種

この項で解説する手順の対象となる機種は以下の通りです。

【対象機種】

カラーインクジェットプリンタ

- EP-301
- Offirio PX-B300
- Offirio PX-B500
- Offirio PX-B310
- Offirio PX-B510
- PM-G860
- PX-101
- PX-201
- PX-5500
- PX-5800
- PX-V630
- PX-V780
- EP-302


オールインワン (Image Scan! for Linux & Photo Image Print System)

- PX-402A

(2010年5月現在)


【事前の準備】

1. Turbolinux Client 2008 をハードディスクにインストールしパッケージのアップデートをおこないま

す。Yum Extender を起動し  (パッケージ) アイコンを選択し画面上部にある “パッケージ” から “更新” オプションボタンを選択しアップデートパッケージを画面のリストに表示します。 [全て追加] ボタンをクリックしアップデートパッケージをすべて選択します。

2. 続いて Yum Extender の (グループ) アイコンを選択して “グループ” 画面から “システムパッケージ” の “印刷サポート” グループを選択し印刷に必要なパッケージをすべてインストールします。(1.および2.の詳細手順は、「[Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド](#)」 「6.1 プリンタ設定の前に」も参照ください。)

3. 上記機種をご利用いただくには、更に libopencdk10、libgnutls26、libexpat0 のインストールが必要になります。

Yum Extender の  (パッケージ) アイコンを選択し画面上部にある “パッケージ” から “利用可能” オプションボタンを選択します。上部のテキストボックス内に “libopencdk10” と入力し



をクリックします。リストにパッケージが表示されたらチェックボックスを選択してください。



をクリックすると検索文字列がクリアされます。続いて同様に "libgnutls26"、"libexpat0" も検索しチェックボックスを選択します。

4. パッケージの選択がすべて完了したら[キューを処理する]ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので[OK]ボタンをクリックして必要なパッケージをすべてインストールしてください。1.～3.の手順で選択をしたパッケージが表示されます。また、依存関係にあるパッケージも自動的に選択されインストールされます。完了後[Quit]ボタンをクリックして Yum Extender を終了してください。

【パッケージのダウンロード】

ブラウザでダウンロードサイト (http://www.turbolinux.co.jp/products/tlc2008/driver/epson_printer.html) へアクセスし、「エプソン製プリンタドライバ」からご利用になる機種名のパッケージ (**【対象機種】**欄参照) をダウンロードしてください。ファイル名は以下のようになります。それぞれ以降のインストール手順が異なりますので本ガイドの該当ページを参照してください。

- pips-機種名-Mandriva $nnnn$. n - n . n . n - n . $xxxx$.tgz → [tar アーカイブの解凍とパッケージのインストール手順へ](#)
- pips-機種名-TurboLinux nn . n - n . n - $xxxx$.tgz → [tar アーカイブの解凍とパッケージのインストール手順へ](#)




"機種名"にはご利用のプリンタの機種名が、" n - n . n . n - $xxxx$ " や " n - n . n - $xxxx$ " の部分にはバージョン番号が入りますのでそれぞれ適宜読み替えてください。



pips-機種名-cups- n . n . n - n .rpm や pipslite- n - n . n . n - n .i386.rpm のようなファイル (RPM パッケージ) をダウンロードした場合は、[RPM パッケージのダウンロードが必要な機種](#)へ進んでください。

【tar アーカイブの解凍とパッケージのインストール手順】

pips-機種名-Mandriva $nnnn$. n - n . n . n - n . $xxxx$.tgz や pips-機種名-TurboLinux nn . n - n . n - $xxxx$.tgz というファイル名のドライバをダウンロードした場合は以下の手順でインストールしてください。

1.  (Kメニュー)から"システム"→"その他のアプリケーション"→"コンソール(管理者)"を選択します。"パスワード:"と表示されたら root のパスワード入力し[Enter]キーを押してください。プロンプトに続けて以下のように入力しアーカイブを解凍します。解凍したファイル名が表示されますので確認してください。

```
# cd /home/turbo/ダウンロード/
# tar zxvf pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG.tgz
pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG.install
```



"/home/turbo/ダウンロード/"の部分はダウンロード先のパスに、"pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG.tgz" "pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG .install"などのファイル名の部分は、実際の tar アーカイブおよびシェルスクリプトのファイル名にそれぞれ適宜読み替えてください。

2. 続いて解凍したシェルスクリプトを次のように実行しドライバをインストールします。上記の場合は、pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG .install になります。

```
# ./pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG .install
Verifying archive integrity... All good.
Uncompressing pips.....

#####

          Photo Image Print System for Linux

          Copyright (C) Seiko Epson Corporation 2005-2008.

#####

PX-101 用 プリンタドライバをインストールします。

*** 印刷中のドキュメントはキャンセルされます ***

印刷中のドキュメントがある場合は、印刷が終了するまで
インストールをお待ち下さい。

インストールを開始します。
```



“pips-px101-Mandriva2008.1-3.4.0-CG .install” などのファイル名の部分は、実際のファイル名に適宜読み替えてください。

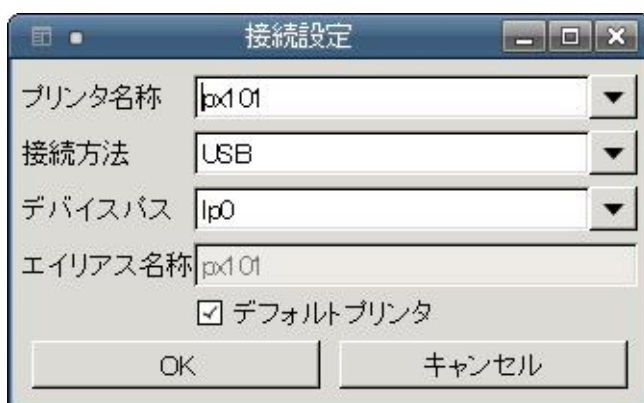
3. 次のように表示されたら “yes” と入力し[Enter]キーを押します。“Do you want to continue? (Yes/No): ” のように表示される場合もありますが同様です。

```
よろしいですか？ (Yes/No): yes ← 入力します。
インストールを実行中です。

pips-core をインストールします。(3.4.0)
pips-gtk2 をインストールします。(3.4.0)
pips-cups をインストールします。(3.4.0)
pips-Mandriva2008.1 をインストールします。(3.4.0)
Stopping ekpd:
Starting ekpd:
pips-px101 をインストールします。(3.4.0)
プリンタをシステムに追加します。

ekpd-tool を起動します。
```

4. 続いて次のダイアログが表示されます。ここでは[キャンセル]をクリックしておきます。



5. 次のように <Enter> と表示されたら[Enter]キーを押して終了します。

インストールが完了しました。
プリンタドライバの使用方法については、以下のドキュメントを参照下さい。

(英語) /usr/share/doc/pips-core-3.4.0/UsersManual.en.txt

(日本語) /usr/share/doc/pips-core-3.4.0/UsersManual.ja.txt

また、プリンタ固有の情報については、以下のドキュメントを参照下さい。

/usr/share/doc/pips-px101-3.4.0/PX-101_Manual.txt

*** 終了 ***

<Enter> ← [Enter] キーを押してください



シェルスクリプト実行時に表示される内容はドライバにより異なります。適宜読み替えてください。
詳細は表示されるパスのドキュメントを参照してください。


6. インストールが完了したらシステムを再起動します。



設定を反映するには cups サービスの再起動またはシステムの再起動が必要です。

【プリンタの設定変更 - Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 以外の機種をご利用の場合】

上記までの手順を完了すると、Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 以外の機種をご利用の場合、自動的にプリンタ設定が追加されます。ただしネットワークなど各設定を確認し必要な変更を行わなければなりません。

1.  (Kメニュー)から“アクション”の“設定”->“プリンタ設定ツール”を起動します。画面上部の“プリンタ名”（例は“px101”）を選択して、画面下部の“プロパティ”タブを表示し設定の確認や変更を行います。
2. “プロパティ”タブ内左側にある“一般”“インターフェース”“ドライバ”“バナー”“クォータ”“ユーザ”の各アイコンをクリックし [変更] ボタンをクリックするとそれぞれの設定画面が表示されます。
各画面の設定項目についてはプリンタの新規追加時と同様ですので、「Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド」 「6.4 プリンタの追加」以降を参照してください。



Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 をご利用の場合の手順は、[【プリンタの追加 - Offirio PX-B300 および Offirio PX-B500 をご利用の場合】](#)を参照ください。

【アンインストール手順 - Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 以外の機種をご利用の場合】

pips-機種名-Mandriva $nnnn.n-n.n.n-n$.xxxx.tgz や pips-機種名-TurboLinux $nn.n-n.n-n$.xxxx.tgz というファイル名のドライバをインストールした場合は以下例のように実行しアンインストールしてください。確認のメッセージが表示されたら “Yes” と入力し続行します。

```
# /usr/local/EPava/printer/機種名/uninstall-機種名.sh
```



以下は、px101 の場合の例です。

```
# /usr/local/EPava/printer/px101/uninstall-px101.sh
```




Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 をご利用の場合の手順は、[【アンインストール手順 - Offirio PX-B300 および Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 をご利用の場合】](#)を参照ください。

【プリンタの追加 - Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 をご利用の場合】



Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 はドライバの制限から「プリンタ設定ツール」を利用したプリンタの登録を行うことができません。ドライバのインストール後、まず以下の方法でプリンタを追加してください。

1.  (Kメニュー)から“システム”→“その他のアプリケーション”→“コンソール(管理者)”を選択します。“パスワード:”と表示されたら root のパスワード入力し[Enter]キーを押してください。プロンプトに続けて以下のように入力しプリンタを追加登録します。

Offirio PX-B300 の場合

```
# lpadmin -p プリンタ名 -E -v デバイスURI -m ekpxb300.ppd
```

Offirio PX-B500 の場合

```
# lpadmin -p プリンタ名 -E -v デバイスURI -m ekpxb500.ppd
```

Offirio PX-B310 の場合

```
# lpadmin -p プリンタ名 -E -v デバイスURI -m ekpxb310.ppd
```

Offirio PX-B510 の場合


```
# lpadmin -p プリンタ名 -E -v デバイスURI -m ekpxb510.ppd
```

以下の例は、pxb500 というプリンタ名でネットワークプリンタを追加しています。

```
# lpadmin -p pxb500 -E -v socket:192.168.0.1:9100 -m ekpxb500.ppd
```



Web ブラウザを起動して、アドレスバーに“<http://localhost:631/>”と URL を入力し以下の CUPS Web 管理ツールからプリンタの追加、設定、プリントジョブの管理等を行うこともできます。“ホーム”タブの[プリンタの追加]ボタンをクリックするとプリンタの追加画面が表示されます。また、[ヘルプ]ボタンをクリックしオンラインヘルプを参照することも可能です。

2. プリンタ登録後は、 (Kメニュー)から“アクション”の“設定”→“プリンタ設定ツール”を起動し、画面上部の“プリンタ名”(例“pxb500”)を選択、画面下部の“プロパティ”タブを表示し設定の確認や変更を行うことができます。
3. “プロパティ”タブ内左側にある“一般”“インターフェース”“バナー”“クォータ”“ユーザ”の各アイコンをクリックし [変更] ボタンをクリックするとそれぞれの設定画面が表示されます。
各画面の設定項目についてはプリンタの新規追加時と同様ですので、「Turbolinux Client 2008 アプリケーションガイド」 「6.4 プリンタの追加」以降を参照してください。

【アンインストール手順 - Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 をご利用の場合】

Offirio PX-B300、Offirio PX-B500、Offirio PX-B310、Offirio PX-B510 の場合は、以下のように実行しアンインストールしてください。

```
# rpm -e pips-pxb500
# rpm -e pips-common
```